

■第4回 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）策定委員会 会議録■

日時 : 平成20年10月2日（木）18時～20時
場所 : 武蔵野市役所西棟 812 会議室（8 階）
出席者 : 委員 本村清人、河上一雄、守屋るり子、大町洋、島本康子、本郷伸一、赤萩恵子、
和田明子、後藤信義、古矢武士、茨木信
欠席委員 : 萱場和裕
: 庁内ワーキングチーム 大久保宏、岡野行男
事務局 : 担当課職員 西川和延（生涯学習スポーツ課副参事）、茂木孝雄（生涯学習スポーツ課
スポーツ振興係長）
: コンサルタント 黒崎晋司・木藤直隆（株式会社 地域計画建築研究所）
傍聴人 : 2 人

－ 議事要旨 －

□開会

□資料確認

本日の次第、「資料 1 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案）」「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案）」について「参考資料 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案）【概要】」「第 3 回策定委員会会議録」「武蔵野市 体育の日イベント むさしのスポーツ 2008」

□委員交代

事務局 : 10 月 1 日付けで策定委員会委員である教育委員会教育部長について庁内の人事異動があった。本日は、別の行事に出席しており、次回直接ご挨拶させていただきたい。

□会長挨拶

委員長 : 本日の策定委員会では、この間の策定委員会での議論を踏まえて事務局が作成した施策の体系（案）等について、ご意見をいただきたい。

□議事

(1) 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）施策の体系（案）について（資料 1、資料 2、参考資料）

委員長 : 資料 1、2、参考資料について事務局の説明をお願いしたい。そのうえで、質問等の時間をとりたい。

事務局 : 「資料 1 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案）」、「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案）」について、「参考資料 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案）【概要】」について、主に以下の内容を説明した。

○「資料 1 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案）」

- ・大きくは、「基本理念」があり、それをもとに施策の体系案を構成した。「基本理念」は、[ひと]の視点からみた「健康・体力づくり」と[地域]の視点から見た「仲間・地域づくり」について今後記述していく。

- ・施策の体系案は、「基本方針（４つの柱）」があり、その下に「施策の考え方」、さらにその下に「基本施策」という３段階の構成で整理した。また、「基本方針（４つの柱）」を支えるために「実現化方策」についても整理した。

○「資料２ 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案）について」

- ・施策の体系案の構造について、基本方針は、まずは、スポーツに親しむための「Ⅰ きっかけづくりの充実」（広げる）、次にそれを継続していくための「Ⅱ 継続するための取組み」（つなぐ）、その際に既存資源を活かしていく「Ⅲ 既存資源の活用」（活かす）、その成果として、「Ⅳ ライフスタイルの構築」（育くむ）につなげていく。このように段階的な構成として４つの柱を立てている。４つの柱は、並列の関係ではなく、「きっかけ」から始まり成果につながっていく、一つの流れが見える形で整理した。
- ・「Ⅰ きっかけづくりの充実」（広げる）は、身近な機会や年代に応じてニーズが違うといった考え方を「基本施策」に反映した。
- ・「Ⅱ 継続するための取組み」（つなぐ）は、かつてはスポーツをしていたが忙しくてスポーツを「する」機会が無くなっている状況等に対して、気軽に続けられる機会やステップアップしていく機会を提供していくという考え方を「基本施策」に反映した。
- ・「Ⅲ 既存資源の活用」（活かす）は、市内には施設や場、ひと、市の現行施策など、すでに様々な既存資源があり、こうした資源の有効活用を図っていききたいという考え方を「基本施策」に反映した。
- ・「Ⅳ ライフスタイルの構築」（育くむ）は、スポーツをつうじて、人を元気にしていくこと、同時に地域も元気にしていくという広がっていくイメージで考え、こうした観点から「基本施策」をまとめた。
- ・「基本方針」（４つの柱）を実現化していくのは、「Ⅰ 情報提供の充実」（伝える）と「Ⅱ 連携づくり」（支える）であり、「実現化方策」として整理した。
- ・「Ⅰ 情報提供の充実」（伝える）は、市民のニーズを把握し、情報の内容と同時に伝達方法の充実を図り、その結果、市民どうしが情報の交換をおこなえる段階まで情報提供を充実していきたいという考え方にもとづき「基本施策」をまとめた。
- ・「Ⅱ 連携づくり」（支える）は、市役所内部の横断的な連携だけでなく、市民と市、市民と事業者と市の連携が必要であること、また、スポーツに安心して取組めることやスポーツの普及啓発につなげていくという観点から「基本施策」を整理した。
- ・「資料１ 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案）」に戻って、「基本方針」や「実現化方策」の「施策の考え方」について説明するとともに、「基本施策」の紹介をおこなった。

○「参考資料 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案）【概要】」

- ・「基本方針」（４つの柱）にもとづく個々の「基本施策」と同時に「実現化方策」にあたる「基本施策」の考え方や想定される内容について概要の説明をおこなった。

委員長：資料１では体系的に、資料２でそれぞれの「基本方針」は決して並列ではなく構造的に作成していること、参考資料で「基本施策」の詳細について説明があり、総合的に理解できたように感じている。事務局から冒頭の説明にあったように、本日、委員の方々からご意

見をいただき、修正を加え、次回の委員会では内容を固めて、中間報告としてパブリックコメントにかけていくとの話があった。従って、本日は委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたい。

委員：事務局から説明のあった4つの「基本方針」について、かなり整理してまとめてもらえていると思う。

「実現化方策」については、いろいろな施策はつくったものの、現実には市民の皆さんが体を動かすかどうかポイントになってくると思う。このなかで、「Ⅰ 情報提供の充実」は、行政や民間などが情報を提供していく市民への“はたらきかけ”になると思うが、実際にスポーツをする側の市民にとって「やってみよう」という気にさせる何らかの目標物がないとなかなか実現していかないのではないかな。その際、数値目標や目標とする大会などがあると人は動くのではないかなと思う。

①例えば、東京マラソンのような目標となる大会などに参加している人は、年に一度の大会のために相当練習を積んでいる。大会の規模は別としても何か目標物があると良い。

②大人の体力測定といった形で、子どもの頃は学校で50mを何秒で走るか測ったが、大人になった現在、どのくらいの速さで50mを走ることができるかなど、自分のコンディションや体力を知るきっかけにもなると思う。何らかの形で小学校・中学校・高校の頃に測定したデータと成人になってからの数値と比較できるようなことができると、体力の衰えを感じたりすることで、運動するための“はたらきかけ”にもなると思う。

委員長：「情報提供の充実」の範疇のなかで組み込むようなイメージか。

委員：情報提供の先として、何かスポーツをするきっかけとなる目標があるとおもしろいと思う。

委員長：本日配布資料にある「武蔵野市 体育の日イベント むさしのスポーツ 2008」のなかで、例えば、大人の体力測定などがあると良いのではないかな。基本方針「Ⅱ 継続するための取組み」にもつながっていくと思う。国でも10月13日（月）の体育の日にイベントでトップアスリートとふれる機会や体力測定などおこなっている。

副委員長：先週日曜日のスポーツフェスティバルの際には、体力測定などのメニューがあった。

副委員長：今回、事務局から出された施策の体系（案）は、非常に整理されまとめられていると思う。このようにまとめた過程において、現行の武蔵野市におけるスポーツ振興のあり方のなかで、今までにあがってきた課題がどのように盛り込まれているのか伺いたい。同時に、それぞれの「基本施策」のなかで重点的に取組むべき部分はどこになるのか。現行のスポーツ振興の現状や課題を受けて出された案なのか、これから新たにみんなで進めていこうという方向性から出された案なのか基本的な部分について庁内での議論もふまえて伺いたい。

委員長：現状や課題については、この策定委員会の第2回、第3回のなかで様々な検討をおこなってきている。それらの議論のなかで出てきた現状や課題もふまえて進めているところであるが、もう一度原点に戻りどのような考え方から今後のスポーツ振興を図っていくのかといったご意見だと思う。

事務局：先ほど副委員長からお話のあったように、市としてはこれまで何十年にわたってスポーツの振興を図ってきており、当然「ゼロ」からの発進ではない。今回お示ししている「基本施策」に対応する事業については、すでにおこなわれている事業もたくさんあると考えている。策定委員会が出されたご意見とともに、庁内ワーキングチームから出された各課の

スポーツに関連する事業などは、ほとんどこの「基本施策」に対応する事業として網羅されていると思う。

「実現化方策」の「Ⅱ 連携づくり」にあるように、各課の事業は、それぞれの直面する課題に対する事業として進めているものであり、今回はそれらをスポーツという視点から体系的に分類整理させていただいた。市ではいろいろな形でスポーツに関する取組をおこなっているが、現状、市民の皆さまには分かりづらく参加しにくい状態にあるのではないかと考えている。今回、これまでの策定委員会の議論もふまえたうえで一定程度まとめたところである。

また、「基本施策」に対応した形で想定される事業については、そこまでお示しすると資料が非常に複雑な形になってしまうと考え、今回は掲載していない。まずは、今回お示したような方向性でスポーツ振興を図っていけるかどうか委員の皆さまの率直なご意見をいただき、さらに整理していきたいと考えている。

事務局：副委員長のご発言のうち、どういう課題に対応してこの体系図ができているのか、というご質問について補足説明させていただきたい。「基本方針」（4つの柱）については、以下のような考え方をもとに作成した。

①「Ⅰ きっかけづくりの充実」（広げる）は、例えば、総合体育館を利用している人はある意味ではスポーツをすでにされており、なかなか総合体育館まで来れない人たちにどのようにアプローチするのかが課題だと考えている。こうした問題意識からスポーツと関わるチャンネルを「広げる」ことが必要という考えに至っている。「する」機会を広げること、「見る」ことや「ふれあう」ことも“きっかけ”になるのではないかと、という視点から施策を考えている。同時に、年代に応じてニーズが異なり置かれている状況も違うといったこと、例えば高校生になると部活動の競技スポーツ以外にスポーツを楽しむ機会が少なくなるといったご意見なども策定委員会からいただいております、それらの議論もふまえて年代に応じた施策の展開を図っていききたいと考えている。

②「Ⅱ 継続するための取組み」（つなぐ）は、“きっかけ”だけあってもなかなか継続するのが難しいとのご意見をいただいた。例えば、成人は仕事で忙しい、女性の方が結婚・出産・子育てなどでスポーツをする機会から遠ざかってしまった場合、一旦スポーツから離れてしまうとなかなかスポーツに戻る機会がないといった課題に対応した基本方針を立てたところである。同時に、市の現行施策として初心者向けの施策はたくさんあるが、次の段階としてステップアップできる講座が少ないのではとのご意見をいただいたこともふまえ、次のステップを用意できるよう施策を検討した。

③「Ⅲ 既存資源の有効活用」（活かす）は、今回の『スポーツ振興計画（仮称）』では、「武蔵野らしさ」にこだわりたいと考えた。「武蔵野らしさ」を体系図や施策の一つひとつから表現していきたいと考えた。こうした観点から、現在の武蔵野市の資源をみると、住宅地のなかにたくさんある小さな公園、市内の立派な並木道、駅前の賑わいのある商店街などの施設や場を人的資源も含めて活かしていきたいと考えた。同時に、様々な市の現行施策をスポーツの視点から整理した形で進めていききたいと考えている。市全域で“総合体育館”の役割を担うようなイメージで考え、組み立てた基本方針である。

④「Ⅳ ライフスタイルの構築」（育くむ）は、ⅠからⅢの基本方針・基本施策をどのよ

うに成果として結実させていくのかという点から検討した。

競技志向の方が市内にたくさんいるようなことを目指すというよりは、スポーツをつうじて健康になり、明るくなり、交流が盛んになるなど健全育成につながるとともに地域が元気になっていく形に結実化させていきたいと考えている。ある意味、スポーツは会話の話題づくりやちょっと体を動かすことをスポーツととらえればいろいろな人との出会いの機会にもなるなど、とっかかりやすいものだと考えている。このような観点からスポーツをとらえ、まちづくりへと発展させていきたいと考えている。

こうしたいくつかの課題をふまえて、それらを大きく包摂する形で一つひとつの「基本方針」となる柱を立て、一個一個の課題に対しては「基本施策」で対応させていただいた。

副委員長：「基本施策」がそれぞれの課題に対応してつくられていることは理解でき、非常に良いと思う。なぜ、武蔵野市で今回「スポーツ振興計画（仮称）」をつくるのか、その根底にあるであろう重点課題に対して、今後、重点施策が出されるのかどうか伺いたい。

委員長：「基本施策」の次の段階として、重点施策が盛り込まれるのではないかと。本日は、現状と課題、それに対応した考え方にもとづいた内容が形として出されており、このような考え方、方向性で行くのかどうかといった点の検討が一番大事だと思う。次回の委員会では、さらにフィードバックされた具体的な内容が資料として出されると思われる。

委員：「スポーツをとおした地域の魅力づくり」は進めていきたい内容だと思う。一つ伺いたいのは、「実現化方策」の「Ⅱ 連携づくり」の「基本施策」として「スポーツをつうじた地域の見守りの促進」の“地域での見守り”のイメージを教えてください。

事務局：まだ検討中であるが、例えば、地域でのウォーキングと火の用心などの見守りを組合せたようなことや、商店街と連携した取組を進めるなかで、顔の見える関係をつくり、子どもの登下校時に地域で見守ってもらうようなことにもつながると思う。スポーツをしながら見守るということ、同時にスポーツを“きっかけ”として地域とつながることが見守りに発展していくという2つの流れが考えられると思う。

今回の計画では、スポーツをかなり広い意味でとらえている。例えば、商店街のちょっとしたスペースで若者向けの新しいスポーツを誘致し、観客も出てくることにより一つの名物になり商店街振興につながることも考えられる。このような形で地域とつながることができると思う。

委員：「実現化方策」の「Ⅰ 情報提供の充実」にある「市民どうしでの情報交換の仕組みづくり」という「基本施策」は非常に優れた考え方だと思う。ここ10年くらい、子どもたちは、学校から出ると家で一人でも楽しめるものが非常に多く、孤立化の傾向にあると思う。また、社会全体で子どもが楽しめるものを大人がつくり与え、最近では大人でも人と人とのつながりが非常に希薄になってきたと思う。そのような時に、情報提供の充実を図りながら、スポーツをつうじて子どもだけでなく多世代とつながり合うことができる施策は大事だと思う。是非とも深めていただきたい。

事務局：今後は、スポーツ振興事業団や体育協会のホームページなど、もう少し“むさしののスポーツ”としてポータル的な役割を担うようなイメージにしていくことは考えられる。市民どうしの情報交換については、掲示板の機能などを設け、選手が足りない場合の募集が可能になるようなことが将来的にできると良いと思う。少しずつでも向上していきたい。

委員：昨年度に実施された『武蔵野市スポーツ市民意識調査』でも、女性の場合、子育てや家事などに忙しく、スポーツに親しむ機会が少ないという結果が出ていた。このような課題に対して「自宅でできるスポーツの促進」という施策が設けられており、自分に置き換えてみてもできるのではないかと思った。自分にもチャンスがめぐってきた気がしている。ステップアップするための機会も含め、無理なく徐々にスポーツに親しむことができるように思う。年齢を重ねていくなかでこのような機会があることは非常に良いと思う。是非、充実させてほしい。

委員長：確かに、「自宅でできるスポーツ」というのは、面白い視点ではないかと思う。

委員：「基本施策」をみると、いろいろ網羅されている。「実現化方策」の「情報提供の充実」が「基本方針」（4つの柱）を貫いているという考え方も良いと思う。それが無かったために今まで市民に周知が図れていなかったと思う。同時に、基本方針の「Ⅲ 既存資源の有効活用」の施策の考え方にある「現行プログラムを活かした工夫」は是非整理していただきながら、他の分野と連携していけると良いと思う。

また、「実現化方策」の「Ⅱ 連携づくり」は、先に連携があるのではなく、まずスポーツがあつて後から地域の見守りにつながっていくような形だと無理がないと思う。スポーツは、一人ひとりの体力や健康を向上させていくことが重要なことだと思う。“地域づくり”の話は、スポーツ振興の結果の副産物として考えていけば良いと思う。

委員長：「実現化方策」の「Ⅱ 連携づくり」では、市やスポーツ振興事業団、関係機関などで連携して「支える」という考え方も盛り込まれており、考え方を整理する必要があると思う。

委員：「Ⅱ 連携づくり」とも関わる話であるが、“きっかけ”から「広げる」「つなぐ」という形でプログラムが用意されていることは一市民としては良いと思う。

ある程度、受身でなく導入から入ったとしても、先々スポーツを楽しむという際には、設定されたところに入るだけでなく、もう少し自分の意志をもってグループをつくるなり指導者を迎えるなりしながら地域で活動し、周りの人たちを巻き込んで、自主的に取り組んでいきたいと思う方々もたくさんいると思う。

武蔵野市を見た時に、競技性のスポーツや楽しむためのスポーツなど、自主的に取り組みたいと思った際に、指導的な役割を担う組織はないように思う。体育協会の指導者制度をもっと活かされていくべきでありPRが必要だと思う。また、子どもたちや地域で教える側になりうる人を発掘し育てていく工夫ができると良い。

委員：指導者の育成は大事だと思うが「基本施策」のどこに入ってくるのか。また、「市・振興事業団・体協・関係機関等の連携」は、なかなか難しい部分もあると思う。もう一つ気になるのは、高齢者について、女性9割、男性1割程度しかスポーツをしていないという傾向が出ており、男性にどのようにアプローチするかは大きな課題だと思う。

委員長：まさに、「基本施策」の次の段階として出てくる話ではないかと思う。次回の策定委員会では、その辺りの具体的な内容が示されると思う。

また、先ほどご発言のあったように「目標」として、何かしらの数値目標を掲げるかどうかという話は重要なポイントだと思う。国では、平成22年度までに週に1回スポーツする人を50%にするという方針を出しており、そのために「総合型地域スポーツクラブ」を各地で立上げているが、現実的になかなか進んでいない部分もある。

一般的にこのような計画そのものは、すべての施策を網羅するため全体的な話になりがちである。ただし、今回の計画のなかで数値目標を出すとなれば、実現化するために相当の覚悟も必要になってくるが、一度検討するには値すると思う。

委員：市民のスポーツの実施率については、この策定委員会のなかで武蔵野市独自の適切な数値を決めても良いと思う。また、今回の施策のまとめ方は、全体的に非常に良いまとめ方になっていると思う。「基本施策」のなかにも語尾が「創出」「創設」と新しいものを創りだそうという意志を感じる。次回、具体的な内容を期待したい。

「実現化方策」の「Ⅱ 連携づくり」の「地域リハビリテーション」については、どのようなイメージか伺いたい。読んだ人が理解できるかどうか。

事務局：3点目の「地域リハビリテーション」については、武蔵野市の長期調整計画のなかで福祉の分野から出てきている視点であるが、一般的な言葉としてはなかなか浸透していないと思う。スポーツや福祉に限らず、社会生活全体を網羅的に充実させるという意味でとらえていることなので、スポーツとしてもその考え方は取り入れていきたいと考えている。表現の仕方については、福祉部局とも調整しもう少し工夫していきたい。

委員長：分かりにくい言葉はなるべく使わないほうが良いので次回までに検討してほしい。

委員長：基本方針の「Ⅳ ライフスタイルの構築」では、「スポーツをとおした健やかな成長」という施策の考え方から「スポーツをつうじた社会性の形成」「仲間づくりの促進」という「基本施策」があるが、これは結果として、スポーツを手段的な価値としてとらえていると思う。スポーツは本来自分で楽しめるもの、それ自体、スポーツそのものに目的価値があるものだと思う。ここは、「基本施策」として、1番目にスポーツの価値、スポーツの魅力から感じとる、その結果として、社会性や仲間づくりなどにつながるような流れを考えるとライフスタイルの構築にもつながっていくのではないかなと思う。

副委員長：スポーツには、個と集団の話があると思う。例えば、サッカーや野球は一人ではできない。学校の部活動でも、サッカーや野球以外の集団スポーツは、人数が減ってきている。何か基本施策の中に問題解決の方向性など織り込めないか検討していただきたい。

委員長：「Ⅱ 継続するための取組み」のあたりで組み込めるかどうかというところではないか。

委員：高齢者スポーツの場合でも、自分の家に引きこもってしまう傾向がある。高齢者を仲間づくりの一環として、呼びかけていく動きは必要だと思う。同時に、子どもにとっても、個人スポーツよりも、団体スポーツをつうじてチームプレーなどを学び、社会性の形成につながるっていくことは大事な視点だと思う。

また、先ほどの市民のスポーツ実施率を考えた場合、高齢者人口も含めて考えれば、ウォーキングや体操に積極的に取り組むことで目標値に高めていくことはできると思う。

委員長：現状と課題は大切であり意識化しておくことが必要。パブリックコメントのなかでは、現状と課題も良く分かるように整理して、全体構造を明らかにしていく必要があると思う。本日もいろいろなご意見いただいた。さらに事務局にはもうひとがんばりしてもらい、検討いただきたい。次回の委員会では、基本施策の次の段階もあわせてご検討いただきたい。

(3) その他

事務局：10月13日におこなわれる「武蔵野市 体育の日イベント むさしのスポーツ2008」について

て、今回、スポーツを「する」「見る」「応援する」という３つのキーワードをふまえたプログラムを考えている。総合体育館のメインアリーナでは、トランポリンのシドニーオリンピック代表である中田大輔さんのデモンストレーションや横河武蔵野アトラスターズ（ラグビートップリーグ）の紹介など様々なプログラムが開催されるので、ぜひ足を運んでいただきたい。

委員長：本日の策定委員会を終了したいと思います。

次回、第５回策定委員会の日程 １０月２３日（木）

- ・会議 １８：００～２０：００（会場 武蔵野総合体育館 大会議室３階）

第５回以降の予定

- ・第６回：１１月１８日（火）１９：００～２１：００ 武蔵野総合体育館大会議室
- ・第７回：１２月 ９日（火）１８：００～２０：００ 武蔵野総合体育館大会議室
- ・第８回： １月１５日（木）１８：００～２０：００ 武蔵野市役所西棟４１２会議室
- ・第９回： ２月 ５日（木）１８：００～２０：００ 武蔵野総合体育館視聴覚室
- ・第１０回： ２月２４日（火）１８：００～２０：００ 武蔵野総合体育館大会議室

以上